

## ◆ 教科の目標

- (1) 分数の乗法及び除法の意味について理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにする。
- (3) 縮図や拡大図、対称な図形について理解し、図形についての理解を深める。
- (4) 比や比例について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。また、資料の散らばりを調べ統計的に考察することができるようにする。

## ◆ 評価の観点

- ・数理的な事象に関心をもつとともに、数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることのよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする。
- ・数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について論理的に考え表現したり、そのことを基に発展的、統合的に考えたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けている。
- ・分数の計算をしたり、図形の面積や体積を求めたり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付けている。
- ・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、速さの意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解している。

## ◆ 評価の方法

学習態度 発表 ノート ドリル プリント テスト

## ◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	○ 円の面積	・円の面積について求め方を理解し、計算によって求めることができるようにする。
	○ 文字と式	・数量の関係を表す式についての理解を深め、式を用いることができるようにする。
	○ 分数のかけ算	・乗数が分数の場合の、乗法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いる能力を伸ばす。
	○ 分数のわり算	・除数が分数の場合の、除法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いる能力を伸ばす。
	○ 対称な形	・対称な図形の観察や構成を通して、その意味や性質を理解する。
	○ 比と比の値	・2つの数量の割合を表す方法として、比について理解する。
	○ 拡大図と縮図	・拡大図・縮図の意味を理解し、割合を求めて書き表す。 ・縮尺の意味・表し方、縮図からの実際の長さを読み取る。
	○ 速さ	・速さについて理解するとともに、求めることができるようにし、学習に活用する能力を伸ばす。
	○ 角柱と円柱の体積	・角柱や円柱の体積の求め方を理解し、計算によって求めることができるようにする。
後期	○ およその面積	・概形のおよその面積を求める。
	○ 比例と反比例	・比例や反比例の関係について理解し、関数の考えを伸ばす。
	○ 資料の調べ方	・代表値としての平均や散らばり、度数分布について理解を深め、考察・表現したりする。
	○ 場合の数	・具体的な事柄について、起こり得る場合を順序よく整理して調べることができるようにする。
	○ 量の単位のしくみ	・メートル法とその単位の仕組みについて理解し、有効に用いることができるようにする。
	○ 算数のまとめ	・小学校で学習した内容について、領域別に、まとめと総復習をする。